



「原発ゼロ」を訴える小泉氏＝16日、松江
江市殿町の島根県民会館

「自然エネの時代だ」

小泉元首相が原発ゼロ講演

松江

主張していた「原発は安全、低コスト、クリーン」は全てうそだと
して、首相時代の原発
推進の考えを改め、脱
原発を訴えている。

講演では、福島第1
原発事故前に全エネ
ギーの2%だった自然
エネルギーが18年は15
%になったと紹介。「日
本は太陽光、風力、地
熱と自然エネルギーに
恵まれている。国が後
押しすれば、国のエネ
ルギー計画の30年の原
発依存20→22%は自然
エネルギーに換えられ
る」と述べた。

原発について、核燃
料サイクル事業の破綻
や核のごみの最終処分
場のめどが立たない問
題点などを指摘。「原
発に頼らず自然エネ
ルギーで経済発展する時
代」と結んだ。

実行委事務局長の保
母武彦島根大名誉教授
は「保革を超え、保守
政権の中心にいた人が
原発ゼロを訴えた話は
重い」と話した。

(酒井建治)

「原発ゼロ社会の実
現」を訴えて全国行脚
している小泉純一郎元
首相の講演会（実行委
員会主催）が16日、松
江市内で開かれた。「福
島第1原発事故を教訓
に、原発から自然エネ
ルギーへの転換という
実現可能で国民みんな

に支持してもらえる目
標になぜ向かわないの
か」と安倍政権を批判
した。島根、鳥取両県
などから約2100人
が聴講した。
小泉氏は2011年
3月の福島第1原発事
故を受け、原発につい
て勉強。経済産業省が